

事務事業名		塩谷町犬及び猫避妊等手術費補助金交付事業					<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:4: 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり					所属課	住民課	担当	環境衛生担当
	施策名	0:1: 自然環境保全の推進					課長名	鈴木 啓市	担当者名	小野崎 智博
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	案作成中(塩谷町犬及び猫避妊等手術費補助金交付要綱)	
		1	0:4	0:1	0:1	0:0:2	畜犬動物費			
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成30 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要          飼い犬または飼い猫の妊娠を制限することにより、飼い犬等がみだりに繁殖して不当に捨てられることを防止するため、飼い犬等の避妊手術又は去勢手術を行った者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>2 概算事業費          避妊等手術を飼い犬等に行った場合の補助金の額          (1) 避妊手術 飼い犬 1匹につき 5,000円 概算 ×10匹 = 50,000円                            飼い猫 1匹につき 4,000円                   ×40匹 = 160,000円          (2) 去勢手術 飼い犬 1匹につき 3,000円                   ×10匹 = 30,000円                            飼い猫 1匹につき 3,000円                   ×20匹 = 60,000円 合計80匹 300,000円          ※補助金の交付は、当該年度において原則1世帯当たり2匹までとする。</p>								

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) ・補助金の申請受付及び交付事務 ・補助件数見込み80匹(犬20匹、猫60匹)		名称	単位
		ア 補助金交付件数	件
		イ 補助金額	千円
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) ・飼い犬及び猫の所有者		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 登録犬数	匹
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) ・不要な犬・猫の繁殖を抑え、捨て犬や猫をなくす。		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 犬の避妊・去勢手術数	匹
		イ 猫の避妊・去勢手術数	匹

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	件		80	80	80	80
		実績値	件					0
	イ	目標値	千円		30	30	30	30
		実績値	千円					0
対象指標	ア	目標値	匹	837	800	780	760	760
		実績値	匹					0
	イ	目標値	0					0
		実績値	0					0
成果指標	ア	目標値	匹		20	20	20	20
		実績値	匹					0
	イ	目標値	匹		60	60	60	60
		実績値	匹					0

計画		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0	
		県支出金	千円				0	
		地方債	千円				0	
		その他	千円				0	
		一般財源	千円		300	300	300	300
		事業費計 (A)	千円	0	300	300	300	300

実績		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	不要な犬・猫の繁殖を抑え、捨て犬や猫をなくすことは衛生環境を守ることになり、狂犬病等の発生を予防でき、町民の安全確保からも妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	県内25市町中、16市町に補助金助成制度があり、近隣市町のさくら市・矢板市は制定済み、高根沢町もH30年度実施に向け整備中であることから、本町も早期に着手する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	犬に関しては、畜犬登録に数が確認できるものの、猫に関しては、登録義務がないため数の把握が困難であり、先に補助を実施しているさくら市、矢板市より実施状況の情報得て算出しており妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	補助費用は手術費の一部を補うものであり、応分の個人負担があり、犬に関しては、畜犬登録がされ補助対象年度の狂犬病予防注射を受け注射票の交付を受けた犬、また町税の納付状況を確認するため公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 10 月 30 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業